



# 御殿場市SDGs推進指針

令和2年 1月14日  
(令和5年 3月13日改定)  
御殿場市SDGs推進本部

## 1 目的

SDGs（エス・ディーズ）は「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略で、2015年に国連サミットで採択された際目標であり、2030年を目標に、地球上の「誰一人として取り残さない」持続可能社会実現を目指し17のゴールと169のターゲットが設定され、経済・社会・環境を巡る広範な課題に対し統合的取り組みこととしています。

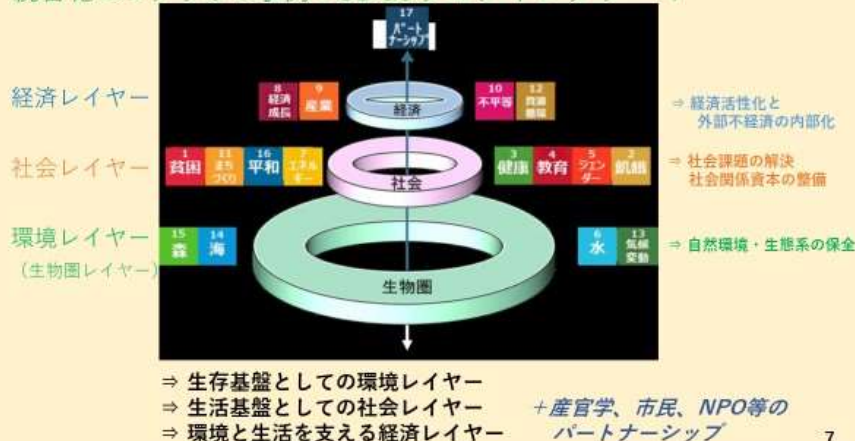
自治体におけるSDGs達成へ向けた取組は、人口減少や地域経済の縮小等の地域課題の解決に資するものであり、SDGsを原動力とした地方創生推進することが期待されています。

本市では、SDGsの視点や要素を市政に組み込むとともに、職員の政策形成能力の向上を図り、もって御殿場市総合計画に基づく将来都市像「緑きらきら、人いきいき、交流都市御殿場」、及び御殿場市SDGs未来都市計画に基づく「誰もが輝ける 富士の麓の環境を守り育てるまち 御殿場」実現に資すること目的とします。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 統合化のシナリオの事例：SDGsウェディングケーキ



## 2 市の取組姿勢

### (1) 施策・取組推進によるSDGs達成への貢献

御殿場市総合計画及び御殿場市SDGs未来都市計画等の推進により、SDGs達成に貢献することを基本に、多様なステークホルダーとのパートナーシップのもとで様々な施策に取り組みます。

### (2) SDGsの普及・啓発

SDGsは単なる行政だけの目標ではなく、市民や企業・団体等が目標を認識・共有し、連携しながら取り組んでいくものであるため、各主体へのSDGsへの理解を深め、連携を促す普及・啓発に積極的に取り組みます。

### (3) 職員の業務遂行

施策の立案や推進に関わる職員一人ひとりがSDGsに関する理解に努めて、目標年次である2030年を見据えた長い時間軸と、169のターゲットの多様な着眼点という広範な視野を意識して、自らの業務に取り組みます。

また、職員は世界の共通言語としてSDGsを意識して、様々なステークホルダーと連携し、自らの業務を進めます。

そして、各所属においては職員の積極的な姿勢を引き出すように所属長が指導し、支援するとともに、各課の業務がどのようにSDGsと関連するのかについて、日頃より意識して業務に取り組みます。

### (4) 情報発信

SDGs未来都市として、市民・地域組織・企業・団体等の活動や市の取組を、相互に理解し連携を深めるため、情報発信に努め、国内外へ広く情報発信にすることに取り組みます。

### (5) 個別計画

各部・課の事務に関する個別計画等を策定し、又は改定する際は、SDGsの解説及びその理念と当該個別計画との関連を記載します。また、政策・施策に紐づくSDGsの個別のアイコンも表示するように努めます。

### (6) 担当部署の役割

担当部署は、総合調整窓口として、御殿場SDGsクラブに関する事務、御殿場市SDGs未来都市計画に基づく指標の達成に向けた進捗管理に関する事務等を行います。

### 3 推進体制

#### (1) 市の推進体制

SDGsの達成に向けた取組を本市において総合的かつ効果的に推進するため、御殿場市SDGs推進本部が設置し、本部長を市長、副本部長を副市長、本部員を庁議委員（教育長、経済外交戦略監及び各部長として、SDGsの理念に基づく本市の持続可能なまちづくり及びその進捗管理に関する事項や市民、企業、各種団体、教育機関等によるSDGsを推進する取組との連携及び支援に関する事項、その他、SDGsの達成に向けた取組及び普及啓発に関し必要な事項を行います。

#### (2) 多様なステークホルダーとの連携

##### ・御殿場SDGsクラブ

本市の特性とSDGsの観点を踏まえながら地方創生に資する社会課題解決や地域産業育成を推進するため、多様なステークホルダーの参画によるプラットフォーム「御殿場SDGsクラブ」（会長：御殿場市長）を運営します。

クラブに参画する企業団体と共に、研修会・講演会・フォーラム等の開催による機運醸成とともに、SDGsの課題解決や産業育成・普及啓発等のための地域におけるマッチング、各ステークホルダーの活動の見えるかによる情報発信などに取り組みます。

##### ・御殿場市エコガーデンシティ推進協議会

本市では、平成27年11月に駒門周辺地域エコシティ化事業として、静岡県内陸フロンティア推進区域の指定を受け、再生可能エネルギー活用などのモデル事業を推進し、この取り組みを全市的に拡大して関連分野含めて推進を図るため、平成29年7月に御殿場市エコガーデンシティ推進協議会が発足しました。（会長：御殿場市商工会長、市・企業・団体、有識者、金融機関などが参画）

平成30年7月には、「御殿場市エコガーデンシティ構想」を策定し、世界遺産富士山の麓にふさわしい、優れた環境と景観の形成（エコロジー）と産業・経済振興（エコノミー）が好循環するまち「エコガーデンシティ」の実現を目指す取組を進め、本市の恵まれた自然・社会条件を活かし、先端技術を活用しながら環境と景観の改善に継続的に取り組むことで、地域経済活性化や市の魅力・ブランド力向上の実現を図っています。

産学官金から構成される御殿場市エコガーデンシティ推進協議会は、エコガーデンシティ構想に基づき、環境・経済・社会を統合的に向上させ持続可能な社会を目指してSDGs推進に寄与します。

### (3) 御殿場市SDGs未来都市計画

令和4年5月に、内閣府から『SDGs未来都市』に選定されました。SDGs未来都市実現のため、国へ提出した提案書に基づき計画を作成し、内閣府の検討会や関係省庁タスクフォースでの意見を踏まえて、令和4年10月11日に御殿場市SDGs推進本部において計画内容を承認し御殿場市SDGs未来都市計画を策定。

本市の特徴あるステークホルダーとのパートナーシップによる自律的好循環のもと、全市を挙げて更なるSDGsの推進、誰もが輝ける持続可能な地域社会の実現を図ります。

※SDGs未来都市は、2030年のSDGs達成を図るため、各自治体においてのSDGs推進の取組をさらに加速させ、先進事例創出と普及展開が必要となったことから、国が平成30年度から行っている制度です。2030年のあるべき姿の実現に向けて、特に経済・社会・環境の三側面の統合的取組により、新たな価値を創造する提案を行った都市を、SDGs未来都市として選定しています。

## 御殿場市SDGs未来都市計画 取組概要

誰もが輝ける 富士の麓の環境を守り育てるまち 御殿場  
静岡県御殿場市

<b>1.地域特性と課題及び目標</b>	静岡県東北部に位置し、世界文化遺産富士山の麓にある緑豊かな高原都市であり、JR御殿場線や東名・新東名高速道路、国道246号・138号が市内を通り、交通の利便性が高い。また首都圏に直結し良好な自然環境に有していることから、先端技術産業を中心とする企業や、研修・研究施設、観光レジャー施設、宿泊施設が数多くあるとともに、富士山の恵であるミネラル豊富な伏流水の恩恵を受け、評価の高い米・わさび等の農産物、飲食物工場も存在し、第1～3次までバランスの良い産業構造となっている。 今後人口減少社会を迎え、様々な災害や若者流出などの不安もあるなか、恵まれた自然を守り、市民が快適に安心して暮らしていくことができるかが課題として挙げられる。そのため、これまでの地域の歩みを踏まえ、市民協働・官民連携の体制を構築して各種取組を進め、絆で結ばれた活力ある都市づくりを目指していく。
<b>2.全体計画の概要</b>	豊かな自然・歴史文化・産業といった地域特性を活かし、市民や特徴あるステークホルダーとのパートナーシップによる自律的好循環のもと、環境・景観の良質な形成と産業・経済発展の両立を図る。併せて、デジタル技術の活用、質の高い教育、多様なニーズに応じた福祉等も推進し、各世代の市民とも誇りを持ち、来訪者は潤いと安らぎを享受し、誰もが輝ける持続可能な地域社会を実現する。
<b>3.関連するゴール</b>	<b>5.自治体SDGs推進等に向けた取組</b>
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>御殿場SDGsクラブ</b> 宣言制度のSDGsプラットフォームとして企業・教育研究機関・NPO法人・金融機関等が参画→今後、市民・各種団体にも活動を広め、自律的好循環形成のために【登録制度】構築やSDGs金融創設等を目指す。</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>御殿場市エコカーデンシティ推進協議会</b> 環境・景観の形成と産業・経済振興の高立を目指し、産官学を中心に住民代表や企業、市内金融機関、環境分野NPO等が参画。→専門的・先進的な取組の協議・実証、先端技術の普及、市民への科学・環境教育促進等を行う。</p> </div> </div>
<b>4.2030年のあるべき姿</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p><b>経済</b> <span style="background-color: #ffc107; padding: 2px;">地域産業の持続的発展</span>                      ・環境先端企業・機関の集積と連携                      ・創出と地域循環による農業活性化                      ・SDGs金融と御殿場型デジタルポイント等の導入</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>社会</b> <span style="background-color: #17a2b8; padding: 2px;">デジタル・絆・文化が調和する持続可能な社会形成</span>                      ・高度デジタル社会への的確な対応                      ・誰もが安心できる生活環境と地域の絆                      ・別荘文化・茅文化・食文化の発信                      ・スポーツ交流によるまちづくり、健康づくり                      ・地域防災力の強化</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p><b>環境</b> <span style="background-color: #28a745; padding: 2px;">環境先進都市への挑戦</span>                      ・エコカーデンシティ構想の推進                      ・資源循環型社会の構築                      ・ゼロカーボン社会の実現                      ・環境保全と環境意識の向上                      ・魅力ある景観の形成                      ・「木育」による森林資源の活用と木産業振興</p> </div> </div>
<b>6.他地域への展開見込 (普及効果)</b>	「御殿場SDGsクラブ」は、多くの企業・団体が参画するプラットフォームであり、多くの関係者とSDGs推進する基本体制となっている。またデジタル地域通貨とマイナンバーとを連携した御殿場型デジタルポイントの仕組みは地域課題解決に資する市民活動にも相性がよく、相乗的に発展・活発化が望めるため、他の自治体においても普及展開性は高い。

### 4 その他

この指針の実施に関して必要な事項は、市長が別に定めます。

※参考 国連「2030アジェンダ」に掲載される『5つのP』

